

## 最新の機械貿易動向(12月)～機械輸出は6ヶ月連続でマイナスと依然低迷～

日本機械輸出組合 2013. 2. 21

12月の機械輸出額は、3兆4,003億円、対前年同月比9.3%減と6ヶ月連続で減少し、低迷を続けている(11月6.3%減)。

これは、①すべての地域でマイナスとなったこと、②機械輸出額の34%を占める自動車の伸びが6.2%減とマイナスとなったこと、18%の産業機械が12.1%減と大幅な減少が続いていることなどによる。

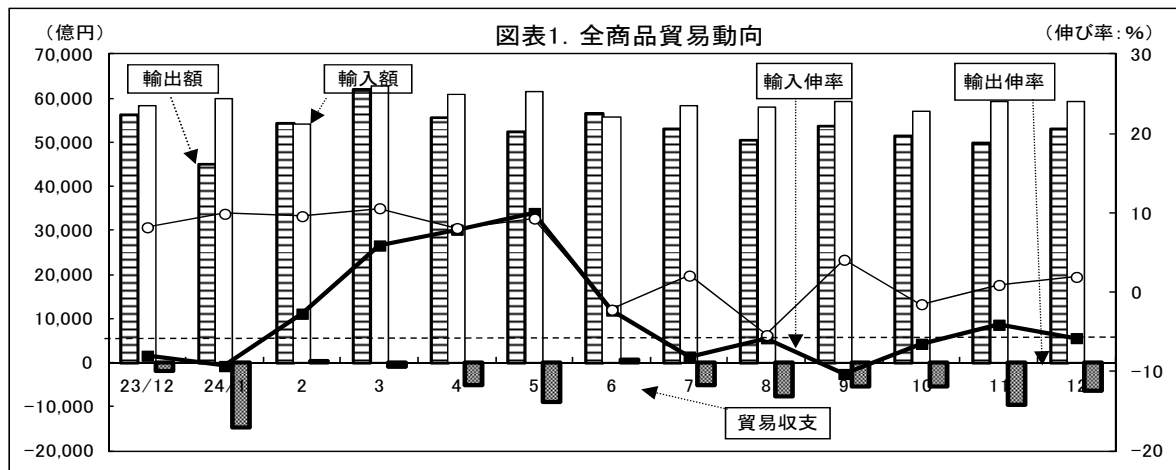
平成25年1月は、営業日は前年と同じで対ドル・対ユーロとも円安が続き、為替によって7.8%の増加要因となる。1月の機械輸出額は、仮に12月の実質的伸び(12.7%減)が続くとすれば、前年比4.9%減と予想されたが、20日発表の貿易統計速報では1.7%増となった。

### 1. 全商品貿易動向～輸出は7ヶ月連続でマイナス、貿易収支は赤字基調続く～

1)平成24年12月の全商品輸出額は**5兆2,992億円**、前年同月比(以下同じ)**5.8%減**と再びマイナス幅が拡大し、7ヶ月連続の減少となった(11月4.1%減)。これは全輸出額の約22%を占める輸送用機器(9.5%減)、約20%の原動機・金属加工機械等一般機械(13.3%減)等が減少したことによる。

2)輸入額は**5兆9,425億円**、**1.9%増**とプラス幅がやや拡大した(11月0.9%増)。これは、全輸入額の約37%を占める原粗油等鉱物性燃料(4.5%増)、約12%の通信機等電気機器(3.0%増)、約8%の医薬品等化学製品(5.9%増)が増加したためである。

3)この結果、輸出額から輸入額を差し引いた12月の貿易収支は、6,433億円と7月以降6ヶ月連続で貿易赤字となり、12月(1979年1月以降)としては過去最大の赤字となった。

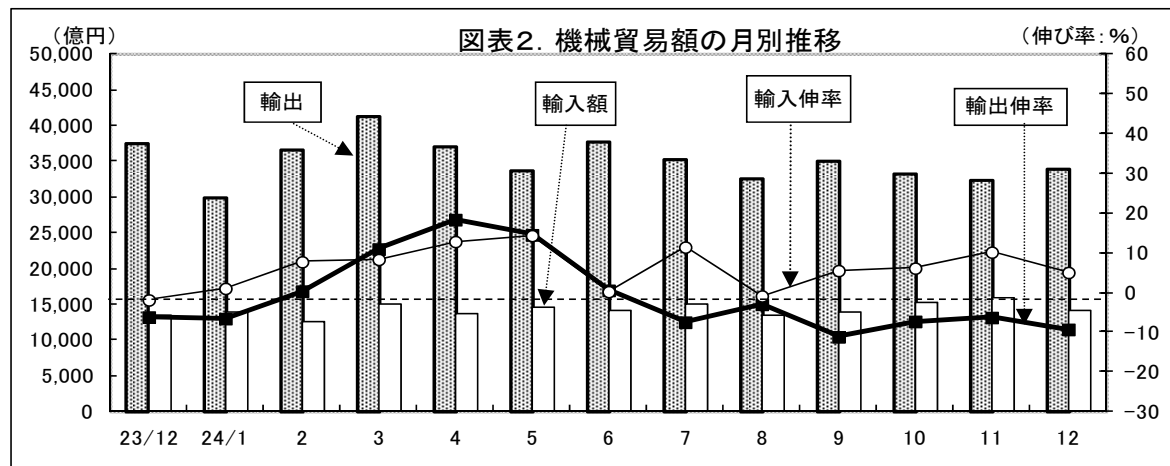


### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～機械輸出は6ヶ月連続で減少、輸入は4ヶ月連続増加～

1)全商品輸出額の約64%を占める12月の機械輸出額は**3兆4,003億円**、**9.3%減**と減少幅は再び拡大し、6ヶ月連続でマイナスとなった(11月6.3%減)。輸出額の水準は、リーマンショック前(平成19年12月)と比べると、**66.5%**と前月に比べ2.2ポイント回復した(11月64.3%)。

2)一方、全商品輸入額の約24%を占める機械輸入額は、**1兆4,089億円**、**5.0%増**と増加幅は縮小したもの(11月10.1%増)、4ヶ月連続で増加した。輸入額の水準は、リーマンショック以前の**84.2%**と前月より7.3ポイント後退した(11月91.5%)。

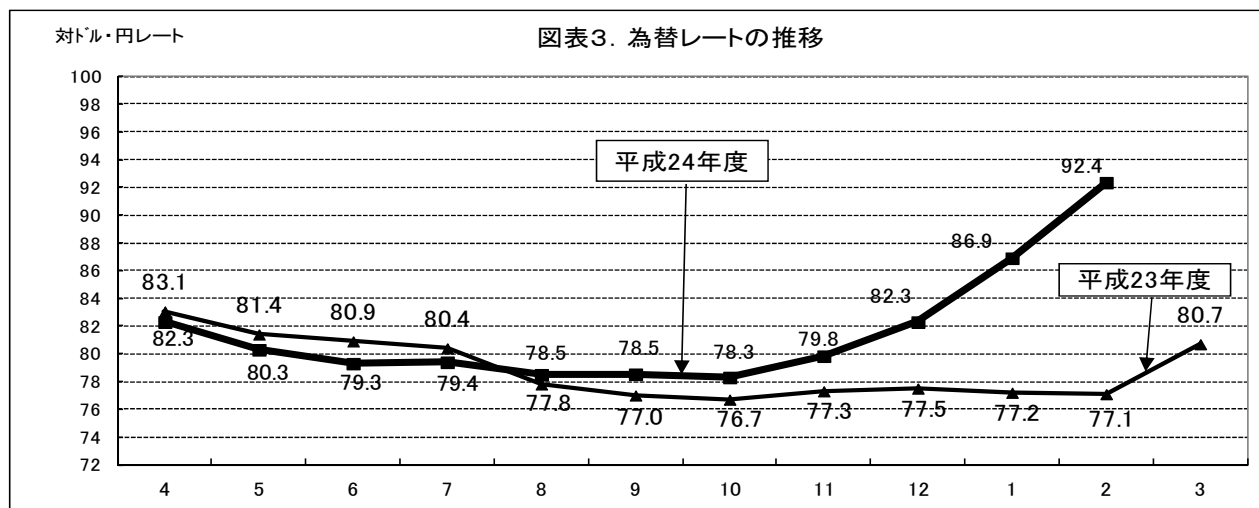


**(2) 為替動向・営業日～12月は為替・営業日で3.4%の増加、1月は7.8%の増加要因～**

1) 12月は1ドル=82.3円と円安方向に転換し、前年に比べ6.2%の円安となった。また、対ユーロ、も106.6円と前年に対して2.8%と平成23年7月以来の円安となり、合わせて3.4%の為替増加要因となった。営業日は同じなので合計3.4%の増加要因となる。12月の輸出額は9.3%減であったことから、**実質的伸び率は12.7%減**とマイナス幅はやや縮小した(11月13.3%減)。

2) 1月は1ドル=86.9円と円安が進み、前年に比べ12.6%の円安となった。また、対ユーロでは114.6円と前年に対し14.8%と円安が進み、合わせて約7.8%の為替増加要因となった。営業日は同じため、**合計7.8%の増加要因**となる。

3) 2月は、対ドルが現状の92.4円とすれば、前年に比べて19.8%の円安、また、対ユーロも124.8円と円安がさらに進んだので**23.8%の円安**となり、合わせると12.3%の為替増加要因となる。営業日は2日少ないので10%減、**合計2.3%の増加要因**となる。



**(3) 地域別動向～中国、EU向けをはじめ、すべての地域でマイナス～**

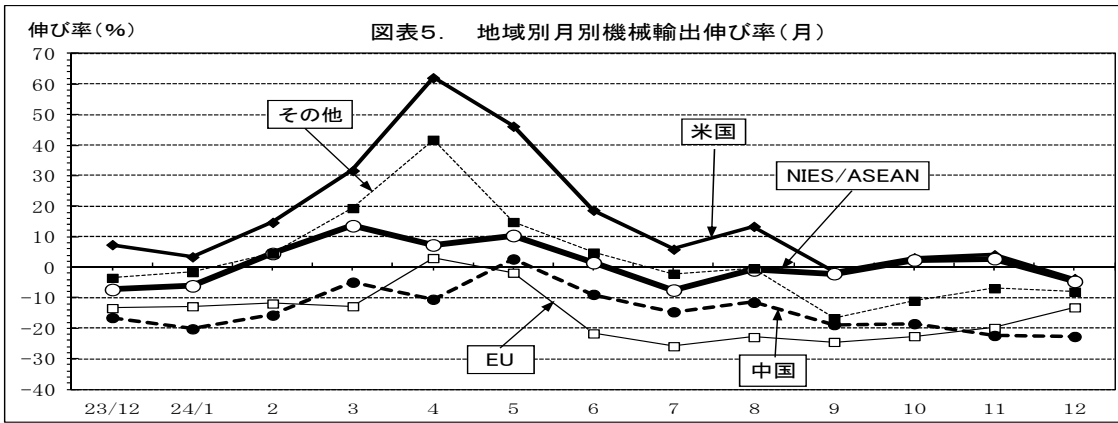
1) 機械輸出額が減少したのは、①機械輸出額の15%を占める**中国向け**で、輸出額の21%を占める半導体製造装置等産業機械(18.2%減)、13%の自動車(48.4%減)、電池・電子計測器等軽電気機械(21.5%減)が大幅に減少し、**22.7%減**のマイナスとなったこと、②また、11%を占める**EU向け**では、長びく欧州経済の低迷から、輸出額の31%を占める自動車(23.1%減)、16%の産業機械(11.9%減)、軽電気機械(19.5%減)等が減少し、**13.2%減**とマイナスとなったこと、③20%を占める**その他地域向け**では、アフリカ(28.9%減)、インド(17.8%減)が2ケタ減となり、機種では、輸出額の約58%を占める自動車(3.9%増)がプラスとなったものの、10%の産業機械(20.9%減)や船舶(35.0%減)、建設機械(28.4%減)等がマイナスとなり**8.0%の減少**となったこと、④29%と最大輸出先の**NIES/ASEAN向け**では、タイ(35.3%増)は大幅プラスとなったものの、韓国(15.7%減)、香港(8.5%減)、インドネシア(20.5%減)等がマイナスとなり、業種では自動車、電子デバイスがプラスとなったものの、軽電気機械、産業機械等がマイナスとなって**4.7%減**となったこと、⑤25%を占める**北米向け**は重電気機械(18.8%増)がプラス幅を増加したものの、輸出額の50%を占める自動車(4.4%減)がマイナスに転じ、15%の産業機械(4.6%減)、建設機械(6.7%減)、軽電気機械(7.4%減)が減少して**3.7%減**とマイナスに転じたことによる。

2) また、リーマンショック前の平成19年12月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えた地域はなく、中国が78%、NIES/ASEANが75%、北米が72%、その他地域は60%、EUは44%と低い水準となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向 (単位: 億円)

	2012/10			2012/11			2012/12			対07年12月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	33,282	▲ 7.3	103	32,352	▲ 6.3	95	34,003	▲ 9.3	100	0.66
北米	7,881	3.1	24.4	8,018	4.1	23.6	8,528	▲ 3.7	25.1	0.72
EU	3,588	▲ 22.6	11.1	3,541	▲ 19.9	10.4	3,765	▲ 13.2	11.1	0.44
NIES/ASEAN	9,720	2.4	30.0	9,401	2.8	27.6	9,859	▲ 4.7	29.0	0.75
中国	5,405	▲ 18.5	16.7	4,831	▲ 22.4	14.2	5,230	▲ 22.7	15.4	0.78
その他	6,689	▲ 11.0	20.7	6,562	▲ 6.9	19.3	6,621	▲ 8.0	19.5	0.60

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2012/9		2012/10		2012/11		2012/12	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,634	▲ 5.5	1,581	▲ 1.0	1,567	▲ 4.6	1,682	▲ 15.7
台湾	1,603	▲ 6.2	1,533	▲ 6.6	1,383	▲ 11.4	1,640	0.5
香港	1,491	▲ 4.8	1,437	▲ 2.2	1,553	▲ 18.3	1,379	▲ 8.5
タイ	2,006	▲ 12.8	1,955	▲ 31.8	1,884	▲ 56.4	1,955	▲ 35.3
シンガポール	793	▲ 26.0	687	▲ 12.0	697	▲ 23.1	717	▲ 26.9
インドネシア	927	▲ 1.5	805	▲ 3.9	760	▲ 19.4	794	▲ 20.5
マレーシア	767	▲ 5.1	774	▲ 5.1	621	▲ 12.0	736	0.1
フィリピン	556	▲ 4.5	507	▲ 13.5	500	▲ 2.8	491	▲ 16.3
ベトナム	371	▲ 14.5	326	▲ 7.4	360	▲ 22.3	382	▲ 1.9
<b>その他地域</b>								
中南米	2,188	▲ 22.3	2,060	▲ 11.7	2,008	▲ 18.0	1,900	▲ 5.8
中近東	1,443	▲ 1.8	1,472	▲ 3.2	1,470	▲ 23.4	1,546	▲ 12.1
大洋州	1,267	▲ 12.5	1,021	▲ 0.2	1,116	▲ 4.7	1,106	▲ 9.9
ロシア東欧等	1,086	▲ 25.3	1,084	▲ 25.0	995	▲ 7.8	979	▲ 5.3
アフリカ	729	▲ 15.6	570	▲ 0.5	460	▲ 28.1	580	▲ 28.9
インド	411	▲ 20.9	401	▲ 9.7	400	▲ 10.3	453	▲ 17.8

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～19業種のうち17業種がマイナス、自動車は4ヶ月連続マイナスへ～

- 業種別では、全19業種中マイナスとなったのが、17業種と3業種増加した(11月14業種)。全体の約34%を占める自動車(6.2%減、4ヶ月連続マイナス)、約18%を占める産業機械(12.1%減、18ヶ月連続)をはじめ、船舶(37.4%減)、建設機械(31.9%減)、陸用内燃機(22.0%減)、ベアリング(16.3%減)、工作機械(16.2%減)、産業車両(14.2%減)、繊維機械(13.6%減)、軽電気機械(13.5%減)、農業機械(10.5%減)等が大幅なマイナスとなった。プラスは光学機械、医療機械のみ。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えているのが医療機械の1業種のみで、他方、電子計算機、民生用電子機械、通信機械は、40%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

機種名	2012/10			2012/11			2012/12			対07/12比		
	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額		伸び率	シェア
自動車	11,220	▲ 8.2	33.7	自動車	11,092	▲ 3.8	34.3	自動車	11,593	▲ 6.2	34.1	0.63
産業機械	5,439	▲ 9.6	16.3	産業機械	5,285	▲ 9.0	16.3	産業機械	5,994	▲ 12.1	17.6	0.75
電子デバイス	2,836	▲ 4.4	8.5	電子デバイス	2,768	▲ 8.8	8.6	電子デバイス	2,786	▲ 4.5	8.2	0.64
船舶	1,175	▲ 10.9	3.5	船舶	1,155	▲ 42.8	3.6	船舶	886	▲ 37.4	2.6	0.55
軽電気機械	1,781	▲ 10.6	5.4	軽電気機械	1,680	▲ 9.2	5.2	軽電気機械	1,797	▲ 13.5	5.3	0.65
民生用電子機械	1,680	▲ 6.6	5.0	民生用電子機械	1,510	▲ 15.7	4.7	民生用電子機械	1,421	▲ 1.5	4.2	0.44
重電気機械	1,701	▲ 6.6	5.1	重電気機械	1,653	▲ 4.1	5.1	重電気機械	1,775	▲ 4.4	5.2	0.80
軽機械	1,242	▲ 6.7	3.7	軽機械	1,242	▲ 0.8	3.8	軽機械	1,344	▲ 7.9	4.0	0.70
光学機械	1,379	▲ 0.2	4.1	光学機械	1,291	▲ 0.1	4.0	光学機械	1,324	▲ 1.5	3.9	0.98
建設機械	772	▲ 34.7	2.3	建設機械	726	▲ 35.2	2.2	建設機械	922	▲ 31.9	2.7	0.60
工作機械	844	▲ 13.8	2.5	工作機械	779	▲ 6.6	2.4	工作機械	805	▲ 16.2	2.4	0.93
通信機械	388	▲ 17.6	1.2	通信機械	394	▲ 8.4	1.2	通信機械	438	▲ 6.2	1.3	0.40
電子計算機	377	▲ 17.3	1.1	電子計算機	402	▲ 2.7	1.2	電子計算機	444	▲ 1.6	1.3	0.40
ベアリング	333	▲ 12.9	1.0	ベアリング	324	▲ 11.2	1.0	ベアリング	325	▲ 16.3	1.0	0.91
陸用内燃機関	322	▲ 19.7	1.0	陸用内燃機関	313	▲ 14.3	1.0	陸用内燃機関	330	▲ 22.0	1.0	0.75
医療機械	303	▲ 1.8	0.9	医療機械	325	▲ 3.6	1.0	医療機械	343	▲ 1.9	1.0	1.58
繊維機械	174	▲ 16.1	0.5	繊維機械	155	▲ 7.5	0.5	繊維機械	150	▲ 13.6	0.4	0.52
農業機械	145	▲ 2.3	0.4	農業機械	147	▲ 16.1	0.5	農業機械	141	▲ 10.5	0.4	0.58
産業車両	128	▲ 2.1	0.4	産業車両	116	▲ 17.1	0.4	産業車両	116	▲ 14.2	0.3	0.50
19業種合計	32,239		96.9	19業種合計	31,357		96.9	19業種合計	32,934		96.9	0.66

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品。

軽電気機械:白物家電、電子計測器。軽機械:分析器。光学機械:光学材料、カメラ。

**(5)機種別動向～TV、運搬機械が増加、他方、録画・再生機器、電池、エアコン等は大幅減～**

- 1)10%以上の伸び率を示した機種は、①北米、EU、韓国・台湾、ASEAN 向け運搬機械 (10.6%増)、②中国、北米向け TV(10.4%増)である。
- 2)一方、最も落込み幅が大きいのが、録画・再生機器(45.9%減)、電池(43.7%減)、エアコン(43.0%減)、船舶(37.4%減)、建設機械(31.9%減)、半導体製造装置(30.8%減)、磁気カード・ディスク等(23.8%減)、陸用内燃機関(22.0%減)、風水力機械(19.7%減)、ベアリング(16.3%減)であった。

**図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)**

2012/10			2012/11			2012/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
金属加工機械	375	29.2	デジカメ	521	44.1	運搬機械	241	10.6
工作機械	844	13.8	TV	81	18.3	TV	84	10.4
機種合計	1,219	3.7%	運搬機械	238	16.9	機種合計	325	1.0%
			農業機械	147	16.1			
			機種合計	987	3.1%			

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

**図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)**

2012/10			2012/11			2012/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
録画・再生機器	8	▲ 55.6	エアコン	6	▲ 57.8	録画・再生機器	8	▲ 45.9
電池	180	▲ 48.1	半導体製造装置	517	▲ 48.6	電池	183	▲ 43.7
発電機	96	▲ 36.7	録画・再生機器	8	▲ 45.5	エアコン	6	▲ 43.0
半導体製造装置	638	▲ 36.4	船舶	1,155	▲ 42.8	船舶	886	▲ 37.4
建設機械	772	▲ 34.7	電池	179	▲ 39.3	建設機械	922	▲ 31.9
運搬機械	187	▲ 24.3	建設機械	726	▲ 35.2	半導体製造装置	966	▲ 30.8
陸用内燃機関	322	▲ 19.7	産業車両	116	▲ 17.1	磁気カード・ディスク等	135	▲ 23.8
電子計算機	377	▲ 17.3	産業用ロボット	82	▲ 16.3	陸用内燃機関	330	▲ 22.0
通信機械	388	▲ 17.6	貨物自動車	770	▲ 14.8	風水力機械	637	▲ 19.7
繊維機械	174	▲ 16.1	陸用内燃機関	313	▲ 14.3	ベアリング	325	▲ 16.3
機種合計	3,142	9.4%	機種合計	3,872	12.0%	機種合計	4,398	12.9%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \*機種合計の%は機械輸出額に対する割合

**(6)機械輸入動向～電子デバイス、乗用車が大幅増、TV、民生用電子部品が減少～**

- 1)12月の機械輸入伸び率は5.0%増と4ヶ月連続で増加となった。その要因は、二大輸入機種のひとつの電子デバイス(10.5%増)、乗用車(12.1%増)、医療機械(18.8%増)、光学機械(14.7%増)の2桁増が大きく影響したためである。他方、大幅な減少となったのはTV(31.1%減)、民生用電子部品(17.1%減)などであった。
- 2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、白物家電、医療機械、TV、時計、事務機械、録画・再生機器、ラジオとなっている。
- 3)地域別機械輸入額は、中国(3.9%増)、北米(12.1%増)、ASEAN(3.8%増)、EU(0.7%減)、韓国・台湾(3.4%増)の順となっている。

**図表10. 機械輸入額上位12機種**

(単位:億円、%)

2012/10				2012/11				2012/12			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,823	13.6	12.0	携帯電話	1,935	128.2	12.2	電子計算機	1,713	5.3	12.2
電子デバイス	1,531	0.8	10.1	電子計算機	1,572	▲ 0.8	9.9	電子デバイス	1,528	10.5	10.8
携帯電話	1,310	29.3	8.6	電子デバイス	1,562	8.0	9.8	携帯電話	898	2.6	6.4
乗用車	730	21.0	4.8	乗用車	872	12.8	5.5	乗用車	757	12.1	5.4
自動車部品	717	2.0	4.7	自動車部品	722	▲ 0.5	4.5	自動車部品	637	1.9	4.5
重電気機械	674	11.5	4.4	重電気機械	670	4.4	4.2	白物家電	508	7.2	3.6
白物家電	526	6.2	3.5	白物家電	590	9.7	3.7	医療機械	503	18.8	3.6
医療機器	506	16.2	3.3	医療機器	495	5.3	3.1	光学機械	320	14.7	2.3
航空機	383	▲ 4.9	2.5	航空機	347	24.9	2.2	分析・試験・検査機	281	6.1	2.0
光学機械	354	▲ 2.5	2.3	光学機械	345	9.9	2.2	TV	261	▲ 31.1	1.9
民生用電子部品	326	▲ 1.7	2.1	分析・試験・検査機	325	▲ 9.7	2.0	民生用電子部品	240	▲ 17.1	1.7
分析・試験・検査機	281	▲ 3.6	1.9	民生用電子部品	296	▲ 13.7	1.9	時計	210	0.3	1.5
12機種合計	9,161		60.3	12機種合計	9,731		61.2	12機種合計	7,856		55.8

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械